



# おくすり通信

No. 45 泌尿器～蓄尿症状の改善～

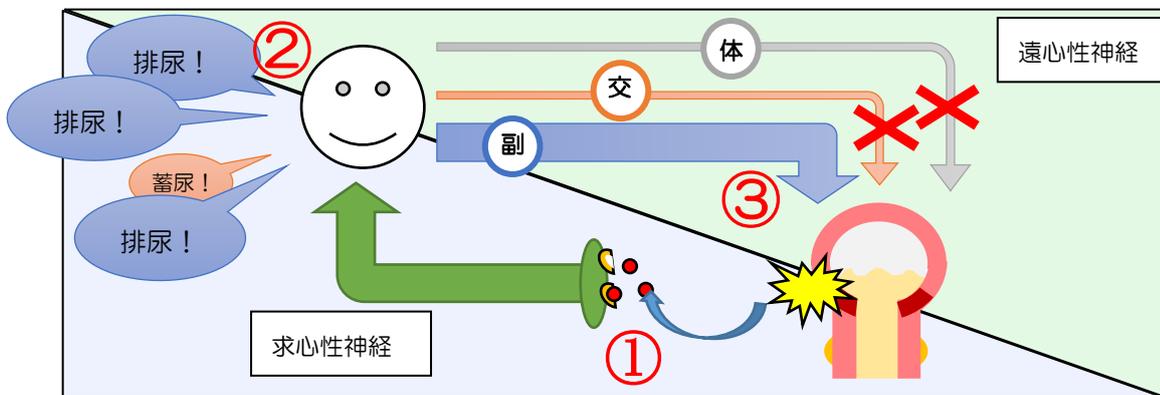
こんにちは、薬剤科です。今回は蓄尿症状を改善する治療薬をご紹介します。

## 《蓄尿・排尿に関わる神経》

蓄尿から排尿までの流れには、**求心性神経**・**遠心性神経**が関係しています。**求心性神経**は、膀胱が脳に対し尿が溜まってきたことを伝える神経です。**遠心性神経**は脳が膀胱に対し蓄尿や排尿を指示する神経であり、**交感神経**、**副交感神経**、**体性神経**で構成されます。

## 《蓄尿症状の病態》 ※蓄尿症状は、尿が溜められず排尿回数が増えてしまう状態。

膀胱が異常な刺激を受けることで伝達物質が放出され、①**求心性神経が活性化し脳に尿意を伝えます**。その結果、②**膀胱に尿が溜まっていなくても脳が排泄しようとする神経に働きかけるため**、③**排尿回数が増えていきます**。また、**蓄尿機能に関係する交感神経と体性神経がうまく機能しなくなることも蓄尿症状の原因となります**。

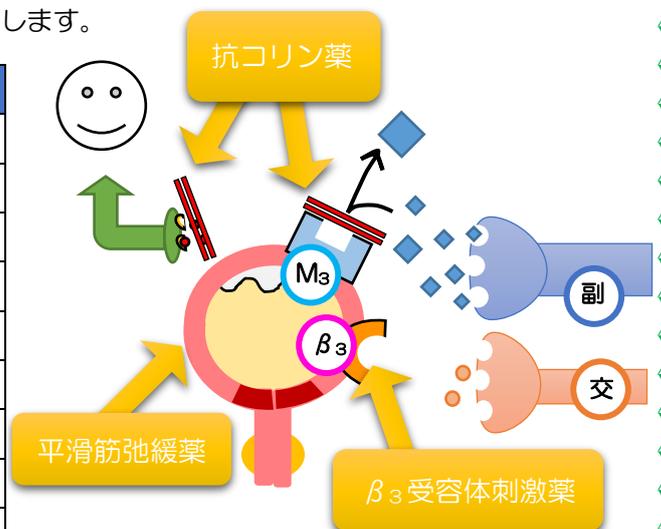


## 《治療薬》

主な治療薬は表の通りです。**抗コリン薬**は膀胱から求心性神経への伝達を遮断、また副交感神経から刺激を受けるムスカリン受容体(M<sub>3</sub>)を遮断することで、**過度な尿意と排泄を改善する治療の中心となるお薬**です。

**β<sub>3</sub>受容体刺激薬**は交感神経から刺激を受けるβ<sub>3</sub>受容体を刺激し、膀胱平滑筋を弛緩させ尿を溜めやすくする作用をもちます。**平滑筋弛緩薬**は直接膀胱平滑筋を弛緩します。

	商品名	一般名
抗コリン薬	トビエース	フェソテロジン
	ベシケア	コハク酸ソリフェナシン
	ウリトス	イミダフェナシン
	ポラキス	オキシブチニン
	バップフォー	プロピベリン
β <sub>3</sub> 受容体刺激薬	ベタニス	ミラベグロン
	ベオーバ	ピベグロン
※β <sub>2</sub> 受容体刺激薬	スピロペント※	クレンブテロール※
平滑筋弛緩薬	ブラダロン	フラボキサート



そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。